

市長定例記者会見 概要

■日時：令和元年6月5日（水） 午前11時00分から午前11時30分まで

■場所：市庁舎5階第4会議室

■相手方出席者：神奈川新聞社、朝日新聞社、東京新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、時事通信社、日本経済新聞社、テレビ神奈川、ジェイコム湘南、タウンニュース社

■市側出席者：桐ヶ谷市長、柏村副市長、福井経営企画部長、田戸総務部長、芳垣市民協働部長、須藤福祉部長、石井環境都市部長、草柳消防長、山田教育部長

■陪席者：福本経営企画部次長、西広聴広報係長、広聴広報係稲井主任

■配布資料

- ・逗子市プレスリリース「令和元年逗子市議会第2回定例会の招集について」
- ・逗子市プレスリリース「逗子海水浴場を開設します」
- ・逗子市プレスリリース「逗子海岸ウォーターパーク」
- ・逗子市プレスリリース「ワッショイ！ずしかいがん」
チラシ 水辺を楽しむ安全教室
- ・逗子市プレスリリース「逗子市はスペインのホストタウンとして、スペイン応援キャンペーンを実施します」
スペイン応援キャンペーンロゴ
チラシ 市民企画募集
チラシ スペイン応援店募集
チラシ 市民応援団募集
- ・逗子市プレスリリース「逗子市空き家バンクを開設」
- ・逗子市プレスリリース「2019年度津波避難訓練を実施します」
2019年度津波避難訓練（概要）
チラシ 津波避難訓練
- ・逗子市プレスリリース「逗子市広報大使コンサート&トークショー」
チラシ 逗子市広報大使 コンサート&トークショー

■内容：下記のとおり

【経営企画部次長】

定刻になりましたので、定例の逗子市長記者会見を始めます。まずはじめに、市長から発言させていただきます。

【市長】

○令和元年逗子市議会第2回定例会の招集について

本日、令和元年第2回市議会定例会の招集告示をいたしました。

案件は、お手元のプレスリリースにあるとおり、2件の報告、5件の議案を予定しています。

主だった議案を説明します。

議案第31号 逗子市総合計画実施計画の変更について

計画の策定から4年が経過したことで、この間の情勢の変化に対応する必要があることから計画を変更するものです。

変更内容は、昨今の猛暑が引き起こす熱中症に関して課題認識等を定めるものです。

議案第35号 令和元年度逗子市一般会計補正予算

歳入歳出とも、6,564万5,000円を増額するものです。

歳出予算の補正の主な内容を説明します。

- ① J R 東逗子駅前用地の活用を目指し、基本構想の策定を進めるため、専門的な知識経験を有する者から助言を得る経費として、J R 東逗子駅前用地活用事業 10 万円を計上しました。
- ② 自治会・町内会等における地域コミュニティ活動に必要な備品等の購入に要する経費として、コミュニティ活動推進事業 220 万円を計上しました。
- ③ 文化プラザホール指定管理者が実施する自主文化事業及び図書館の開館時間を拡大変更することに伴う光熱水費の増額分に要する経費として、文化プラザホール維持管理事業 179 万 5,000 円を増額しました。
- ④ 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の支給に要する経費として、未婚の臨時給付金支給事業 95 万 6,000 円を計上しました。
- ⑤ スマイルまつりの一部業務の委託に要する経費として、体験学習施設講座等事業 60 万円を増額しました。
- ⑥ 逗子小学校の校舎北側外壁防水改修工事に要する経費として、学校施設整備事業 1,694 万円を増額しました。
- ⑦ 逗子中学校の校舎北側外壁防水改修工事に要する経費として、学校施設整備事業 3,786 万 2,000 円を計上しました。
- ⑧ 現在、試行的に実施している図書館の開館時間を拡大変更するための人件費等に要する経費として、人事管理経費 14 万 5,000 円及び非常勤職員報酬 46 万 5,000 円をそれぞれ増額しました。
- ⑨ 図書返却ポストの設置等に要する経費として、図書館活動事業 112 万 4,000 円を増額しました。

歳入予算の補正については、国県支出金及び繰越金のほか所要の財源を措置するものです。

議案につきましては、以上の説明とさせていただきます。

その他に、8点、皆様にお知らせをします。

○池子住宅地区及び海軍補助施設の土地等の共同使用期間の延長について

現在の使用期間については、本年6月25日をもって満了となるため、3月11日付けで共同使用期間延長申請書を提出しています。

提出後の進捗については、現時点において国と米軍との間で協議中と聞いています。

○ロードオアシス裏のがけ崩れについて

5月23日午後5時頃、ロードオアシス裏で、がけ崩れが発生したことは、ご承知のとおりです。

崩れた崖の所有者は、個人の方ですので、民有地です。

市としては、今後の復旧工事に向け、神奈川県、神奈川県道路公社、所有者等と協議、調整を行っているところです。

○今年の花火大会の開催について

5/30(木)、31(金)に開催された市議会臨時会において、花火大会に係る経費として、市観光協会に対して、1,300万円の補助金を出す予算案が可決されました。

市からの補助金は、警備費相当額と限定的なものであり、花火の製作費用や台船に係る費用などは、市観光協会が自力で集めなければならず、依然として、資金集めは苦しい状況となっています。

市民の皆さまはじめ、商店街や地元企業の皆さまからの支援が不可欠となりますので、ご協力をお願いします。

今後、市観光協会において9月27日(金)の開催に向け、実施するための具体的な手続きが始まります。

○今夏の海水浴場の開設について

6月28日から9月1日までの66日間、午前9時から午後5時まで、海水浴場を開設します。また、ファミリービーチ逗子として、子どもが安心して楽しめる取組や企画を開催します。

主なものとして、

- ① 子ども用ライフジャケットです。これは例年好評となっています。海岸中央監視所にて、ライフセーバーより貸し出しをしております。
- ② 水辺を楽しむ安全教室を開催します。これは今年初めての企画です。海水浴シーズン本番を迎える前に、子どもの安全のために、水辺の安全教室を開催するものでありまして、遊びを知り尽くして安全に楽しんでもらいたいと思います。プロが、水辺の基礎知識を伝授する教室で、保護者に一緒に学んでもらいたい企画です。
- ③ 今年も逗子海岸ウォーターパークが開催されます。昨年同様、逗子海岸営業協同組合が運営します。オープニングセレモニーは海開きであります6月28日(金)午前中、式

典後に行い、午後はトライアルのため無料で開放しております。ぜひお子さん等に今年初めての海を楽しんでいただきたいと思います。

- ④ ずしかいがんサマーフェスティバル 2019 を予定しています。逗子海岸保全活用事業として、観光協会が事務局となり、地元マリン関係団体がサポートするという形で実施します。7月22日を皮切りに、6つの企画を予定しています。昨年もありましたが、天候等により全てが開催できず中止になるケースもありましたが、ご理解いただければと存じます。今年も、安全で快適なファミリービーチを維持するため、行政、逗子海岸営業協同組合、マリン関係団体、警察等、皆にご協力いただきながら連携を深めて、安全安心な海水浴場を運営してまいりたいと存じます。

○スペイン応援キャンペーンの実施について

オリンピック・パラリンピック関連事業として、6月から本格的に開始します。スペイン応援キャンペーンと題し、市民企画の募集、スペイン応援店を募集し、市が情報発信の支援をしていきます。

雰囲気盛り上げる市民ボランティアとして、市民応援団を募集します。

このキャンペーンに統一して使用するロゴを職員がデザインし、作成しました。

情熱の国スペインをイメージした太陽をモチーフに、スペインの国旗の色である赤と黄色、逗子の海をイメージした青を使用しています。

○空き家バンクへの登録のお願い

空き家、空き地の利活用及び予防、相談、適正管理を総合的に施策展開し、人口減少社会に資する生活環境の向上をめざしています。

4月25日に空き家バンクを開設し、関係団体と連携しながら運用していきます。

今年度分の固定資産税・都市計画税の納税通知書に空き家バンクのパンフレットを同封したこともあり、開設以来、多くの問合せや相談が寄せられています。今現在、登録件数は6件、申請待ちが2件、利用したい方からのお申し出は17件ございました。

住民自治協議会や自治会・町内会に対し、空き家等の情報を寄せていただくよう依頼しています。

物件の所有者、そしてそれらを利用したい方から、なお一層の登録をお願いいたします。

○津波避難訓練の実施について

7月20日10時から津波避難訓練を逗子海岸で行います。

震度7の地震を想定し、海浜利用者に対する避難誘導訓練等を行います。

○逗子市広報大使コンサートにご来場を

逗子市広報大使のうち、三浦豪太さんと山田姉妹の2組が、6月22日(土)14時か

ら、逗子文化プラザなぎさホールでコンサートとトークショーを行います。

当日は私もトークショーに参加します。

以上です。

【経営企画部次長】

それでは、質疑をいただければと思います。どうぞお願いいたします。

記者) 定例会に関して、土地開発公社の決算についてお伺いします。今回、事業計画としては何もないということで、土地は6億円くらいお持ちで、借金でお買いになったと思うのですが、これをどうしようというアイデアはないということですか。

市長) いや、そうではございません。この一番大きなウエイトを占めます東逗子の開発につきまして、先ほど予算の補正で出しました東逗子駅前用地の活用を目指して10万円計上とありますが、今その準備に入っています。ただ、今現在は、これから詳細を詰めるというところなのですが、計画ではそこにはのってこないということです。

記者) その続きなのですが、東逗子駅の開発とあるのですが、もう少し具体的に、いつごろ、どういうことをされていくのか、どのくらいでどうなるのかを。

市長) はい、今年中に、活用に対しての方向性を決めたいと考えております。これは、前年度はPFIで行うことでサウンディング調査をしました。そのときの土地の利用形態が、私から見ると無駄がある、無駄と言いましょか、無理があったなあと思います。と申しますのは、前面に民有地があります。この民有地を一体とした開発にしなければ、この土地は生きてこないと考えておまして、その前面の民有地の方とお話をさせていただいて、今、一体計画に変更しました。ですので、以前の計画はそれとして、改めて、今、準備に入っているということでもあります。

記者) じゃ、以前の計画は白紙に戻したということで。

市長) 戻しました、はい。

記者) いろいろ具体的な話が。

市長) 年度内を目途に今準備に入っております。まず、その土地にどういうものが建つであろうかという計画がないとその先の様々に進んでいけないものですから、まずはその基本の構築を今進めているところであります。

記者) もう少し時間がかかる？

市長) そうですね。急ぎたいです。

記者) がけ崩れの件なのですが、個人の土地は、基本的には個人が自分でお金を払ってきちんとしないとイケない。公費の投入というのは、まず原則できないし、他の市民の立場からするとあってはならないことだと思うのですが、今回、個人にそういう余力というかお金があるのでしょうか。あるいはもうないからこの土地をどこかに寄付するとか、そういう話し合いになっているのでしょうか。

市長) 所有はそのままなんですけど、まず一つは崖の下に市道が入っています。そして、その隣に県有地でありまして、道路公社が今使用して駐車場になっています。こういう状況がありまして、まずは個人が第一というのはそのとおりなんですけど、その関係の調整を今やっているところでして、なんとか急いで進めていきたいと考えております。

記者) 市道がある場合は確か例外でできましたよね。

市長) はい、そのとおりです。

記者) 花火についてお伺いしたいのですが、昨年も花火に関わっていらっしやっただと思いますが、まず、想いというか、気持ちの部分を教えてください。

市長) 今回議会でも説明させていただきましたけれども、やはり、まちの元気を取り戻すという、このためにぜひとも花火の実施をお願いしたい。それは、これまでは、台船の部分と、花火の部分と警備の部分、という風に大きく言えば費用が割り振られていました。しかし、それはもう警備のみ、逗子市主催の花火大会というからには、逗子市が警備に対して責任を負うべきだという考えから、警備のみの支出をお願いしご了承いただいた、というところでもあります。

また、ご承知のようにいろんな意見があります。議会でも、委員会で否決、本会議で可決と、こういう状況でありまして、皆様が色々な意見をお持ちのことは百も承知であります。しかしながら、まちが元気になっていくというワクワク感、高揚感というのはですね、今の逗子には必要だという考えからお願いし、ご理解いただいたということでもあります。

記者) 議会で反対意見がでたということについて、受け止めといいますか、そういうことについてもうちょっと詳しく教えてください。

市長) はい、これはですね、やはり、様々な市民サービスがカットされている中、一日のイベントに果たしてそれでいいのか、こういうご意見を頂戴しております。しかしながら、ご意見はご意見としながら、まちの元気を私は優先、先行させたいと考えたところがございます。

記者) 市政とあまり関係ないんですが、近日内に駅名変更がありますが、それについて感想をおうかがいできないでしょうか。

市長) 感想ですね、なんと申しましょうか・・・。

記者) 例えば観光業界に対する影響ですとか、あと、昔は逗子海岸と呼ばれていたこととか、そのあたりを。

市長) 逗子側から言えば、場所も逗子だし、すべてが逗子の中で葉山というのはいかななものかという考えもありますけれど、ただ、葉山町とは大変に良好な関係でありますし、様々な広域連携もうまくいっている仲ですし、また、町民の方々も逗子を利用しながら普段から生活しているという点を考えますと、広い気持ちになればそれを受け入れるということもありなんだろうなという風に思います。

記者) ありがとうございます。

記者) 空き家バンクについて確認なのですが、申し出があって、申請をするということですか。

市長) そうです。

記者) 申し出6件で申請が2件ですか。

市長) 申請がもう6件です。あと、その前の準備に向けて協議中が2件です。

記者) 6件についてどう受け止めているか。

市長) 3件は現場を見させていただきました。どういうふうに活用するのがいいのか、それを担当の部局と相談しながら進めています。いろんな方法があつてですね、これは、例えば、宅建協会・業者さんに全部お任せすればうまくいくということは絶対ないと、もう

当初から分かっていた。そこをどういうふうに、利活用に結び付けていくのかに知恵があるなあというのは以前から感じておりました。今後一つ一つ物件を見させていただきながら、呼びかけをしていきたいと考えております。

一番は、誰も手を出したくない古い建物、ここいらの活用が一番問題となっていると思います。これも、実ほうまい受け皿がありまして、そちらがきっちり機能していくと、例えば、若い人たちが勝手に使ってください、どうぞという建物ならば自分たちで DIY しながら住むと。普通、大家は触ってくれるな、退去すると原状復帰だとなるが、古い家屋になると、大家側や地主さんからすると、どう使ってもいいからどうぞという案件もあるはず。そこいらが、DIY を希望する若い世代にうまくマッチすると拡大するなと期待しているところです。

記者) 先ほどの花火大会の話なんですけど、1,300 万円の開催資金と別に、あとどれくらい資金が必要で、資金集めを今後どのように行っていきたいと考えていらっしゃいますか。

市長) はい、警備費が 1,300 万、これは去年で言えば 900 万、その前は 800 万でしたので大変な勢いで高騰しています。来年はもう分からない。どのくらいの警備費になってくるか予想もつかない。ですので、まずは今年は 1,300 万円のなかで警備を済ませていただくというのが条件で、それ以外の費用は、僕は直接今年は担当じゃないものですから、試算はしておりません。多分 1,500 万円前後の費用が必要だというふうに考えます。まあ頑張ってくれてくれるだろうと信じておりますので。はい、お願いをいたします。

記者) その資金集めの関しての集め方は、観光協会に一任ですか。

市長) はい、実行委員会のほうが準備に今入りました。臨時会まで開いてなぜ花火の支出を決めるのかとよく問われましたけれども、この警備が今年はまだ異常な状況となっております。9 月は秋口はワールドカップが開催されますし、国体が開催されるということから、もう警備会社の見積りすら出てこない、見積りを出せないというところが多数でして、これを 1 か月もし遅れていくなれば、確保が難しくなると判断したため、臨時会をお願いしました。それくらい今年はまだ異常な状況の中にあります。なんとか実行委員会が、昨年のような手法をもう一つブラッシュアップして今年はやってくれるのではないかと期待しています。

記者) 池子住宅地区の事なんですけど、6 月で共同使用を延ばしていったということで、防衛省から示されている逗子市域側の生活支援施設の整備計画の方はその後どうなったというか、なんか説明とか追加されるのでしょうか。

市長) 全く説明できる状況にありませんで、国と米軍との交渉が今行われているということだと思います。まあ本当に申し訳ないんですが、これ以上説明できる内容が我々の手元にはないというのが事実であります。

記者) 遅れてきてしまい、もしもお話があった件だったら申し訳ないんですが、今回の補正のなかで、財政対策で、一旦カットしたけど復活したものというのはこの資料のなかでどれになりますか。

市長) そうですね、改めて説明しますと、東逗子の駅前用地の活用事業として10万円、観光協会の助成として花火のほうで1,300万円、そして、非常勤職員の報酬、図書館の件ですが61万円、それから図書館活動事業としてブックポストですとかそういったものも含めた112万4千円、合計で1,483万4千円が予算を変更いたしました。

今年度は財対プログラムの期間中として、昨年度今年度財政対策プログラムを実施するとしていた年でありまして、大幅に昨年度の事業の見直しを今年からやっていくというわけではないという中で、この部分が補正としてださせていただいたということでもあります。

記者) ありがとうございます。

石井環境都市部長) 空き家バンクの関係で、市長の発表を踏まえて補足をさせていただきます。空き家バンクの開設4月25日付けでございます、同日付で2団体と協定を結んでおります。2団体というのは、正式名称で言いますと、公益社団法人神奈川県宅地建物取引業協会鎌倉支部、神奈川県行政書士協会鎌倉支部ということでございます。他の自治体と比較しますと行政書士協会と関係性を結んでいるケースは珍しいのかなということで把握しておりますので、何かございましたらまちづくり景観課へお問い合わせを頂ければと存じます。以上です。

【経営企画部次長】

以上で記者会見を終了します。